

県内唯一の促成イチゴの産地!
高品質で高収益を目指しています



主人公の野原拓人さんは、実家の農地を守ろうと就農を決め、Uターンすることになりました。ワンストップ就農窓口で、品目選定に向け相談をしています。今回は、イチゴの品目紹介です。

特筆すべきはイチゴが園芸作物中トップクラスの高単価であること

そして下表の通り収穫期間が長く安定した収入が確保できる点

1㎡当たり1,000円以上

JAいわて平泉は岩手県唯一の産地だとか!

県南の温暖な気候がおいしいイチゴ作りに向いて誇らしいです

旬は春なんですけどビニールハウスで暖房や換気の設備を利用し温度管理を行うことでクリスマスや年末年始などの需要が高まる12月から出荷を可能にしています

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	目標収量
①促成いちご(加温)	◇ 仮植(7月上旬)	○ 定植(9月上旬)				★ 収穫開始(12月中旬～)							5,000kg / 10a
②促成いちご(無加温)	◇ 仮植(7月上旬)	○ 定植(9月下旬)				★ 収穫開始(2月中旬～)							3,000kg / 10a

苗はどう調達するんですか?

初めは購入してもらい翌年からは生産者自身が親株から発生したランナーを利用して苗作ります

僕が作るんだ!

栽培品種はこちらの3種

どれもおいしそう

さちのか
甘酸バランス良く
保存性と輸送性も良好

やよいひめ
まろやかな酸味と風味
3月以降も高品質を維持

恋みのり
甘味と酸味が調和

加温暖房設備(イメージ)

無加温(イメージ)

9月に植え付けて冬場は加温(暖房設備)または無加温で栽培します

※他にも苗の調達方法がありますが、ランナーを利用した苗作りが主です

その他年一回のしくじり勉強会にて部会員同士で失敗を共有し生産に役立てています

しくじり勉強会か...僕もこの1年間で振り返らないとな

目ぞろえ会

目ぞろえ会でも気温の変化に応じて出荷時の注意点栽培管理病害虫防除などに力点を置いています

育苗指導会

定植作業

気温の低下と短日条件による花芽分化を確認し定植するので条件を満たす管理が必要です

指導会を行い生産体制をサポートしています